

窓付止水具

目視管理が可能な新しいグラウンドアンカー頭部システム

NEW GROUND ANCHOR HEAD SYSTEM



弘和産業株式会社

目視管理が可能な頭部システム

従来、グラウンドアンカーの頭部背面を目視確認するためには、アンカー頭部の荷重解放が必要でしたが、窓付止水具をアンカー頭部に設けることで頭部背面が支圧板より上部となり、窓付止水具に設けてある確認窓より頭部背面を目視確認することが可能となります。

(特許第 4793955号)

- ・建設技術審査証明 建技審証 第 0002 号 EHD アンカー掲載
- ・NETIS 登録申請中

開発の経緯 (旧タイプアンカー、従来型アンカーの問題点)

アンカーの破断事故のうち 90%以上が、頭部および頭部背面で発生

○ 旧タイプアンカーの問題点
頭部背面の防錆処理が全く行われていない。

○ 従来型アンカーの問題点
従来型アンカーは、シースカット位置がプレート下面で施工性が悪く、管理もできない。

シースカット位置がプレート上面に来ることで施工性が向上し、頭部・頭部背面の防錆が確実に維持管理可能な新しいグラウンドアンカー頭部システムの開発



旧タイプアンカーの頭部状況



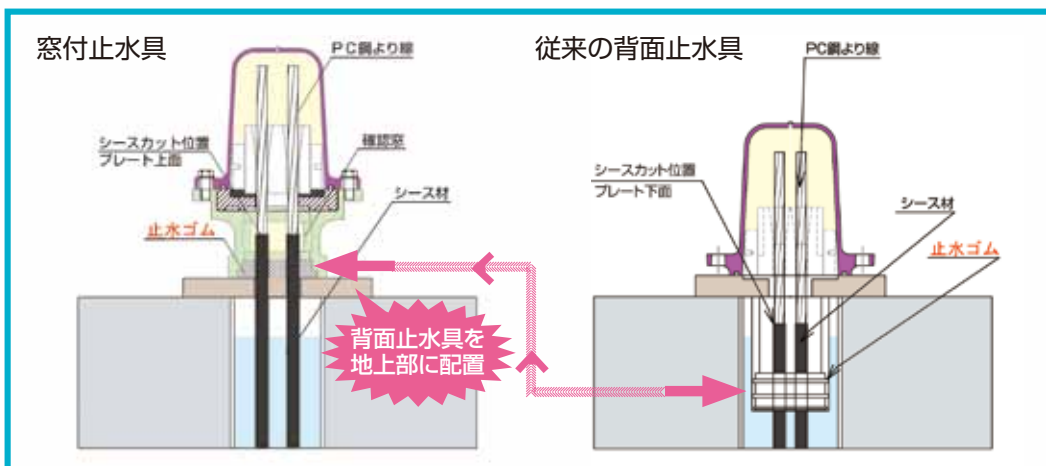
①外観調査時の状況 (中の状態は不明)



②頭部詳細調査 (鋼線の劣化)



③頭部背面調査 (著しい腐食)



窓付止水具の特長

頭部背面を地上へ移動

プレート上面位置にシースカット部をもっていくことで、腐食しやすい境界部が生じません。

維持管理が容易

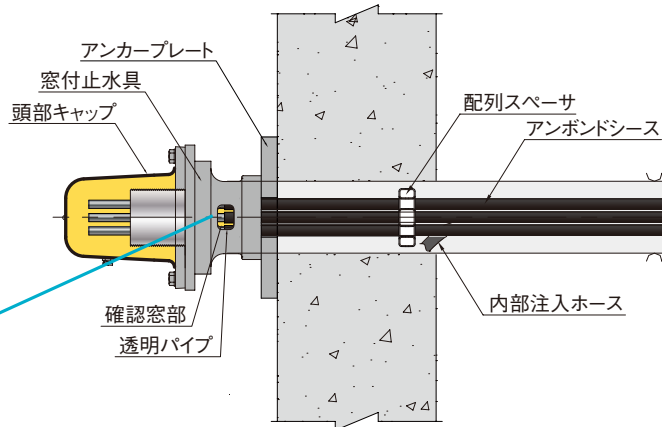
確認窓より施工状況の確認や、防錆材充填状況の確認が可能で維持管理が容易です。

優れた水密性

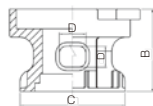
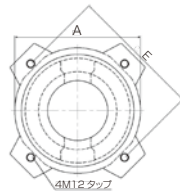
頭部・頭部背面の高い水密性が得られます。

優れた耐久性

ダクタイル鋳鉄は耐力に強靱性を有し、また、腐食が進行しないなどの利点があります。防錆処理として亜鉛めっきを施すことで耐久性が向上します。

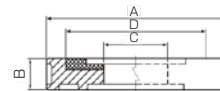
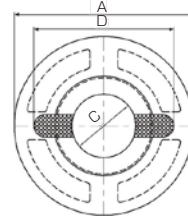


窓付止水具



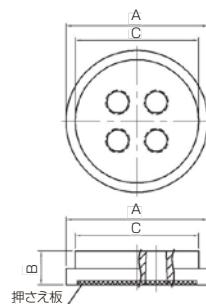
寸法規格	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	PCD φ E (mm)
4用	180	118	150	38 × 30	190
7用	224	130	174	38 × 30	230

アンカーヘッド受け



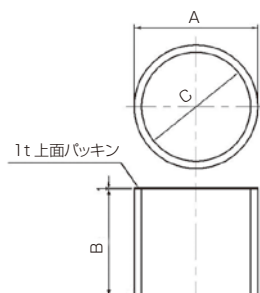
寸法規格	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)
4用	160	28	57	125
7用	204	40	76	155

止水ゴム



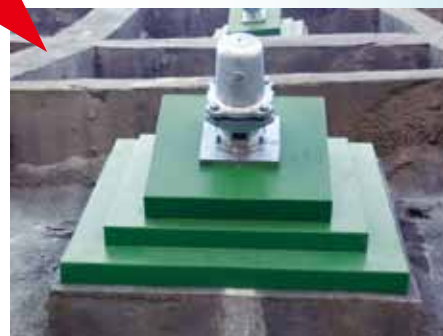
寸法規格	φ A (mm)	B (mm)	φ C (mm)
5-1 ~ 4	107	25.5	93
6-1 ~ 2			
5-5 ~ 7	117	25.5	103
6-3 ~ 4			

透明パイプ



寸法規格	φ A (mm)	B (mm)	φ C (mm)
4用	80	73	75
7用	95	73	85

現場施工例



弘和産業株式会社

お問い合わせ先

〒198-0023 東京都青梅市今井3-3-12
TEL : 0428-32-2811 (代表)
FAX : 0428-32-2818
E-Mail:kowa@kowa-anchor.co.jp
<http://www.kowa-anchor.co.jp>